

# 総務常任委員会の記録

(農林振興課)

招 集 年 月 日	令和8年3月4日(水)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月6日(金) 午後 2時30分
閉 会	同 上 午後 3時32分
出 席 委 員	山崎 匡、赤松 紀幸、山田 寛二、加藤 康幸、山石 恭助、 大内 義昭、芝 勇樹
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 中井 和彦、課長補佐 中平 大介、係長 古谷 直樹
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 森本 秀行、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第33号 令和8年度松野町一般会計予算

山崎委員長	<p>議案第33号「令和8年度松野町一般会計予算」、農林振興課・農業委員会所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
中井課長	<p>(業務計画について業務計画書により説明)</p> <p>議案第33号、令和8年度松野町一般会計予算のうち、農業委員会及び農林振興課所管分について説明申し上げます。「予算書」と「町政の基本方針と当初予算」により、できるだけ要約して説明させていただきます。</p> <p>それでは、歳出予算から説明します。予算書は78ページからであります。</p> <p>6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費は14,484千円を計上しており、その主な内容は、農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬、事務局職員1名と会計年度任用職員1名の人件費のほか、研修や諸会議のための旅費、県農業会議会費など事務経費であります。</p> <p>予算書79ページ下段から80ページ上段、6款1項2目農業総務費は28,694千円を計上しています。</p> <p>予算の主な内容は、職員3名分の人件費のほか、鬼北地区農業改良普及事業推進協議会などへの会費や負担金で、町土地改良区への運営補助金907千円のほか、町農業再生協議会へ支出する経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金2,492千円であります。</p> <p>予算書80ページ下段から81ページ上段、6款1項3目農業振興費は20,881千円を計上しています。農業振興に係る会計年度任用職員1名に関する人件費、18節の負担金、補助及び交付金が主なものであります。81ページの18節には、鬼北地域農業振興協議会負担金704千円のほか各種協議会の負担金と農業振興費補助金として5,840千円を計上しています。</p> <p>なお、農業団体補助金については、各団体の決算状況と実績に</p>

基づき、生産部会の補助金を一律50千円とし前年比160千円減の590千円としています。会員の皆さまには、ご負担をおかけすることとなりますが、ご理解・ご協力をお願いしたいと考えています。

ここで、農業振興に係る主要施策について、町政の基本方針により説明いたします。71ページからになります。

農業振興費補助金は、町の主要産業である農業の基礎となる土づくりをはじめ、果樹においては改植・新植、機械・資材など、幅広く支援することを目的に生産者部会員や主要農作物の栽培に取り組む農業者への補助金であります。令和8年度においては、これまで管理対策補助金、梅振興対策補助金、桃振興対策補助金など6つの補助事業で構成していたものを栽培管理補助金、生産加工補助金の2つの補助事業に整理統合いたしました。事業内容、補助率等についての変更はありません。詳しくは、左の表をお目通しください。

予算書に戻っていただき、81ページ下段から82ページ、6款1項4目担い手育成対策費は63,055千円を予算計上しています。

農業部門の地域おこし協力隊員1名分の活動に係る経費として、人件費、需用費、借上料などを計上しています。12節委託料には、松野町農林公社に対する指定管理料22,500千円を計上しています。14節工事請負費は2,903千円で育苗施設の防虫ネット取付工事を予定しています。17節備品購入費は3,236千円で、自走式により省力化を図るための走行式防除装置の購入費であります。18節は負担金、補助金で、主なものを説明いたします。

アグリレスキュー事業補助金に3,800千円、認定農業者経営支援事業補助金に1,900千円、新規就農者支援事業費補助金に2,518千円、担い手総合支援事業費補助金に7,910

千円、担い手確保・育成対策事業費補助金4,362千円、新規就農者経営開始資金2,250千円、農業支援サービス拡大促進事業費補助金に1,541千円を計上しています。

このうち、重点施策に関連するものについては、資料で説明いたします。まずは、73ページの株式会社松野町農林公社事業概要について説明します。

松野町農林公社は、平成10年に設立以降、本町農業の中心的役割を担ってきており、事業としては、育苗・青果・梅・アグリレスキュー・研修の多岐にわたり、総合営農指導拠点施設等の指定管理者として、施設の運営を行うことで、地域農業の核となっています。事業内容については、左の表に取りまとめているので、お目通し願います。また、農林公社の主な業務として、施設の適正管理・運営、担い手育成対策、農作業支援対策を担っており、予算の中でも説明しましたが、それに関連する補助金を、右の表に取りまとめたので、お目通し願います。

次に、74ページの認定農業者経営支援事業について説明いたします。

本町の認定農業者は、現在29名ですが、効率的かつ安定的な農業経営を進めるには、農業機械の導入は必須となります。国及び県の補助事業を優先的に活用しながら支援をいたしますが、要件に満たない案件も多くあることから、町単独で支援する事業もあります。対象経費としては、中古を含む農業機械、ハウス等の農業用施設・設備で、補助率は3分の1としています。但し、導入目標を設定し、売上増加や経営規模拡大など、自らが定めた目標を達成した場合は、補助金の上限を、30万円から50万円に引き上げることとしています。なお、右の表に事業実績を記載しておりますので、お目通し願います。

予算書に戻っていただいて、82ページ最下段から83ページ上段、6款1項5目農地費は36,814千円を予算計上してい

ます。主な予算は、豊岡前中央水路改修工事に関するもので、14節工事請負費に26,000千円を計上しています。また、16節公有財産購入費には1,000千円、21節補償補填及び賠償金には4,000千円計上しています。その他、18節には、農業農村整備事業費補助金として4,500千円を計上しております。

予算書83ページ下段から84ページ上段、6款1項6目日本型直接支払事業費は43,539千円を計上しています。予算の大部分は、18節の内、中山間地域等直接支払交付金32,577千円と、多面的機能支払交付金9,258千円であります。その他、業務遂行に必要な委託費として、12節中山間地域等直接支払制度支援委託料1,573千円を計上しています。

続いて、予算書84ページ中段、6款1項7目鳥獣被害対策費は35,116千円を計上しています。主なものは、7節報償費に、有害鳥獣捕獲報償費として、12,000千円を計上しています。12節委託料に、有害獣解体処理施設指定管理料として4,860千円を計上しています。18節の主なものは、鳥獣被害対策事業費補助金として7,400千円、鳥獣被害防止総合対策交付金として8,351千円を計上しています。なお、猟友会補助金については、決算状況と実績に基づき、前年比75千円減の150千円としています。猟友会員の皆さまには、ご負担をおかけすることとなりますが、ご理解ご協力をお願いしたいと考えています。

続いて、予算書84ページ下段から85ページ中段、6款2項林業費、1目林業総務費は22,998千円を計上しています。予算の基本的なものは、山林委員の報酬ほか、職員3名分の人件費と各種協議会等負担金であります。

予算書85ページ下段から86ページ中段、6款2項2目林業振興費は38,795千円を計上しています。予算の主な内容は

全国植樹祭が愛媛県で開催されることから7節の報償費、8節の旅費の一部、10節の消耗品に予算を計上しています。12節委託料には、森林経営管理業務委託料として15,791千円を計上しています。18節負担金、補助及び交付金の主なものは、南予森林管理推進センターの負担金が5,319千円、搬出間伐促進事業費補助金2,470千円と、造林事業費補助金3,891千円、木質バイオマス推進事業補助金6,300千円を計上しています。なお、林業研究グループ補助金については、決算状況と実績に基づき、前年比20千円減の80千円としています。林研グループの皆さまには、ご負担をおかけすることとなりますが、ご理解・ご協力をお願いしたいと考えています。

ここで、林業振興費に関連する重点施策について、説明いたします。先ず、資料81ページ、第76回全国植樹祭えひめ2026関連事業について説明いたします。

令和8年5月17日に、第76回全国植樹祭えひめ2026が、県総合運動公園で開催され、県内外から招待者約5,000名の来場が予定されています。式典会場では、市町PRブースの運営や大会記念品の配布を行い、県内外の招待者へ町の魅力を発信するとともに、松野町においてはサテライト会場を設置し、式典映像の中継をはじめ、木工教室、林業機械実演展示等を開催する予定です。詳細についてはお目通し願います。

予算書の戻っていただき、86ページ下段から87ページ上段、6款2項3目森林基幹林道整備費は7,543千円で、予算の主なものは、林道の維持管理に必要な工事請負費、維持管理委託料を計上しています。87ページ、18節には、県が事業主体となり事業を実施している、豊岡宮川線事業に対する負担金2,750千円と既に移管を受けている緑資源幹線林道の受益者組合助成金656千円を計上しています。

予算書87ページ中段、6款3項水産業費、1目水産業振興費

は603千円の予算計上であり、18節に広見川漁協、目黒川協議会への団体補助金を、前年同額の44千円計上するとともに、うなぎ等の放流に対する事業補助金559千円を計上しています。

予算書121ページ中段、歳出の最後、11款災害復旧費、1項農林水産業施設災害復旧費、1目農地農業用施設災害復旧費、2目林業施設災害復旧費は、存置予算として、それぞれ1千円を計上しています。

以上が歳出予算となります。

次に、歳入予算について説明します。歳入については、国、県から交付を受けるものなど、主要な部分に限って抽出して説明いたします。

予算書16ページ上段、2款地方譲与税、3項1目1節森林環境譲与税は24,969千円で、歳出予算6.2.2林業振興費に充当されるものであります。

予算書18ページ下段、12款分担金及び負担金、1項2目1節農地費分担金は1,550千円で6.1.5農地費に充当します。

予算書23ページ中段、14款国庫支出金、2項4目1節農地費補助金は18,600千円で6.1.5農地費に充当します。

予算書26ページ中段、15款県支出金、2項4目農林水産業費県補助金の1節から6節には、農業委員会交付金をはじめ、総額で60,327千円で、6.1.1から6.1.7までの農業関係支出予算に充当するものであります。

予算書34ページ下段、最後に21款町債、1項1目1節過疎対策事業債の内、農林振興課分がハード事業分として31,500千円、ソフト事業分として18,500千円含まれており、歳出予算で説明したとおり、それぞれの事業予算に充当を行います。

	<p>以上で令和8年度松野町一般会計予算の内、農業委員会、農林振興課所管分の説明を終わります。よろしくご審議いただき、ご承認賜りますようお願い申し上げます。</p>
山崎委員長	<p>担当課長の説明が終わりました。委員からの質問を許します。</p>
山田委員	<p>農業関係について、担い手不足というのが大きな課題ということで事業計画にも上げられてると思うんですけど、農業研修する指導料とか事業費補助金とか、それぞれの予算化もされて、担い手に対しての予算を取られてますが、実際に担い手という位置づけとして、年々担い手が高齢化、担い手というか今までやってた人が高齢化によって、やめられる方もたくさんおられる中、新しい人を新しい担い手を育成するために、またそういった方を募集とか、そういうことに苦勞されとるんやろうと思うんですけど、そこら辺で、どのような形で担い手を育成というか、そういう人がいなければ育成の研修もできないと思うんですが、そこら辺をどのような形で取り組まれているのか。</p>
	<p>それと、上家地の養豚場なんですよ。もう進んでるのは聞いてるんですけど具体的に、このスケジュールというか、いつからその養豚場の建設に着工していつ頃完成とか、そこら辺のスケジュールがもし分かっておりましたら教えていただきたいなと思います。</p>
中井課長	<p>まず、1点目の担い手の育成につきましては、本来でありましたら、町内に残っていただく若い方に対する支援が1番だと私は考えております。しかし、なかなか町内に残ってもらうことは困難な中、ここ数年進めておりますのが、地域おこし協力隊をはじめとする町外からの担い手の取り込みでございます。</p>
	<p>今年度におきましては、東京や大阪といった大都市圏におきましても、移住フェアをはじめとするイベントなどにも参加をさせていただいておりますが、残念ながら今のところ新しい担い手さんを見つけることはできておりませんが、今、継続的にお話し合いをさせていただいて、今後、地域おこし協力隊に入っただけの見込み</p>

<p>山 田 委 員</p>	<p>のある方と継続的なお話し合いをさせていただいているところであり ます。</p> <p>そういったことで、外部からの担い手の確保というのもなかなか 難しく、課題もたくさんあるところではあります。継続的な取組 を行いながら、新たな施策として、SNSとかも活用しながら、継 続的に取り組んで参りたいと思っております。</p> <p>また町内の担い手の方におかれましても、できれば一度町外に出 ても、また戻って来れるというような魅力的な農業が示せるよう、 町としても頑張っていきたいと考えております。</p> <p>次に上家地の養豚団地でございますが、上家地の養豚団地につ きましては、太陽ファームが、県へ農振除外等をはじめとする事務手 続を申請されておりました。農地関係の事務処理については、ちょ うど完了したところでございます。</p> <p>ただ、今、事務手続で残っておりますのは、今年度から県で手続 が始まりました盛土規制法というのがあるんですが、これに対す る、事務手続中ではございまして、これが終わりましたら、具体的 な工事着手の日程等のご説明ができるかと思っております。</p> <p>そういったことで、現在は、太陽ファームと情報共有なども行っ ておりますが、また新たな展開になりましたら、議会にもご報告さ せていただきたいと思いますので、その時にはまたよろしく願 いいたします。</p> <p>担い手の確保というのは大変苦労されとるなど、今お聞きしても 思いますし、町内に継承される方も少ない中、今、協力隊の話もさ れたんですけど、実際に協力隊で農業の仕事をされている方が何人 かおられるとは思いますが、その方たちは一応、協力隊の任務 が終わった後も、こちらに残っていただいて農業をやっていただく ような予定になっているのか、そこら辺もまた、後からお聞きし たらと思っております。</p> <p>それと養豚場の件は、事務手続がほとんど終わって、今からやと</p>
----------------	--

ということと思うんですけど、また、あそこに入るまでの道路の拡張とかいうのは、今、進んでるというのは聞いてるんですけど、実際のその養豚場の工事については、今からということなんでしょうけど、またそれとその養豚場ができた後のことなんですけど、できた後というか、雇用とかいうことについては、地元の方の雇用とか、そこら辺のところも、話が出てるのかどうか分かりませんが、そういった雇用面についても、松野町の方が雇用していただけるのか、そこら辺のところも、もし分かっておればお聞かせを願ったらというふうに思います。

中 井 課 長

まず1点目の地域おこし協力隊の卒業後の状況についてですが、これは資料の重要施策の76ページに、地域おこし協力隊の事業を用意しておりますので、そちらを見ていただけたらと思いますが、左に事業イメージとありますが、そこにこれまでの実績を載せております。

農業班につきましては、過去に13名の方が着任顶きましたが、現在、町内に定住頂いている方は4名であります。そして林業班におきましては、1名着任頂いて、町内には1名定住をしていただいている状況です。

その下に課題も書いておりますが、特に農業班につきましては、着任は頂いたものの、なかなか定住頂けていないというようなことが課題となっておりますので、このあたりの課題解消に向けて、住居の確保ですとか、そういった課題を、一つ一つ解消しながら、地域おこし協力隊事業についても進めていきたいと考えております。

2点目の上家地地区の地元雇用に関する質問でございますが、こちらにつきましては、事前にある程度の地元雇用については期待していいというような認識でおりますが、まだ工事等始まっておりませんので、そこらあたりはまだ差し控えさせていただきますが、地元雇用はある程度雇っていただけるものと思っております。

それには、特に上家地とか近い地域における空き家ですとか、建

山 田 委 員	<p>物の確保が1つの課題となっておりますので、今その辺りを町でも確認をしております、太陽ファームにも、工事中に住んで頂けるような形で提供できるよう努めて参りたいと考えております。</p> <p>はい、2点についてご説明頂きまして、協力隊は実績として4人残られておるということで、現在も、私の認識では、1名の方は私知ってるんですけど、その方は一応残っていただくような話になってるんでしょうかね。多分残っていただけそうな雰囲気を私も感じておるんですけど、せっかくそういう志で来られてますので、先ほどの空き家の件とか、受入れ体制といういろいろな面でのサポートとか、そういったことを充実させていただいて、是非松野町に残っていただけるように、空き家の問題も、それを活用することによって、空き家の有効活用ということにも繋がると思いますし、そういった面で、是非その点は強力的にサポートしていただければと思います。</p> <p>養豚場の件は、今時点ですので、まだまだ先のことでしょうけど、雰囲氣的には雇ってもらえそうなのということなので、またそこら辺はそういうふうに期待をしたいと思います。</p>
中 井 課 長	<p>地域おこし協力隊は、現在1名おられますが、その方につきましては、今年度2年目を迎えておりまして、あと1年の研修は残っております。その後の予定につきましては、夫婦で移住していただいたこともあり、地元で定住していただけるというようなお話を聞いております。そのためにも町としましても、住居の確保ですとか、農地の確保、そういった面で支援を続けて参りたいと考えております。</p>
山 石 委 員	<p>中山間直接支払いについてちょっとお伺いします。</p> <p>集落で直接支払の制度について担い手不足とか、役員の不足なんかで組織が成り立たない状態になっているというような状況になっているところがあると思うんですが、今はそういうことから今度はネットワークのほうに移行していくというような状況になっている</p>

<p>中 井 課 長</p>	<p>んじゃないかと思うんですが、今、松野町においてそのネットワークに移行していきよるその辺の状況について、何団体がどこがそういう状況にあるかというようなことをちょっとお聞きしたいんですが、よろしくお願ひします。</p> <p>資料に出ておりますが、78ページを見ていただいたらと思います。</p> <p>直払に限らず、多面的機能支払事業におきまして、なかなか事務手続等、地元で役員をやってもらえないといったような、担い手不足の声をよく聞いているところでございます。そういった中、昨年度から、中山間直払につきましては、第6期を迎えまして、質問でありました内容としては、ネットワーク化の活動計画のことを言われたのだと思いますが、その点については、ここ5年間でその計画書を作成すればよくなっておりまして、既に着手した団体は何団体かあるとは聞いております。</p> <p>ただ、正確に何団体とは言えませんが、6期の終了である5年後を目指して、今、ネットワーク活性化計画の作成に取り組んで頂いている組織は幾つかございます。</p> <p>その参考としましては、資料の右に事業の概要とありますが、その中に各集落の交付単価を出しておりますが、ネットワーク化の計画が必要な集落については、この交付単価が10割となっている組織でございます。</p> <p>この組織は必ず5年以内に先ほど言われたネットワーク活動の計画書の作成が必要でありますので、この集落については、今後、全ての地域において計画書を作成していただくことになると思います。</p> <p>ただ、今どこができているかといったような具体的な説明は、今日この場ではできませんので、ご了承頂いたらと思います。</p>
<p>山 石 委 員</p>	<p>結局、担い手不足とか役員不足というそういうふうになつとるんやと思うんですが、そういうことで持続的にやれるんやったらいい</p>

<p>大 内 委 員</p>	<p>方向に行けるとお思いますので、今後ともそういう指導をよろしくお願ひしたいとお思います。</p> <p>重点施策の搬出間伐促進事業についてお聞きします。</p> <p>この事業、間伐を促進して造林をしますという事業だと思うんですけど、今現在、蕨生団地で令和7年8月から令和12年8月までの期間でという期間が載ってるわけですが、今現在、どういう状況なのかということと、この事業の概要を教えてください。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>搬出間伐促進事業について、まず制度の説明をさせていただいたらとお思います。</p> <p>この事業につきましては、森林経営計画の認定を受けた者が事業主体となり実施するものでありまして、輸送費等に相当する経費に対しまして、1立方メートル当たり1,900円を補助するものです。この補助によりまして、要は、この事業の目的というのが、補助事業を使って森林整備をしても、結局林家には手取りが残らないといった課題解消のために設けている事業でございます。</p> <p>そしてこの事業を継続的に実施しているわけなんですけど、今年度の蕨生部落につきましては、既に現場着手しておりまして、令和8年度、来年度には計画箇所を施業完了する予定となっております。</p> <p>面積につきましては、搬出材積については1,300立方メートルという目標を定めておりますが、ちょっと数字で言っても具体性はないかもしれませんが、計画的な間伐を現在も進めているところでございます。</p>
<p>大 内 委 員</p>	<p>この事業っていうのは、現在は蕨生団地ということになってますけど、町の他の団地、部落林とかいろいろあったとお思いますけど、それについても順次行っていくということでしょうか。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>この事業につきましては、事業体が森林経営計画を立て実施するものであり、今後も計画的に実施される見込みであります。森林整備の面では、毎年年末ぐらいになるかとお思いますけど、各部落に森林整備の意向調査というアンケートのようなものを、1年に1部落ず</p>

	<p>つ調査をさせていただいております。そのアンケートの集計結果として、経営を市町に委ねたいという方で林業経営に適する場合はこの補助事業を活用し、林業経営に適さない場合には、森林環境譲与税を活用した事業を実施しているところです。譲与税事業は、町内10部落ありますので、なかなか順番は回ってこないかもしれませんが、今後も継続的に全部落を対象に行っていく予定であります。</p>
大内委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p>実はこの40何年ぐらい前に、この蕨生団地に私も上りまして、部落の人と作業した覚えがあったんですけど、それから何もずっとさわってないというか、行ってないので、どうなってるかなっていう、荒れ放題になっとるんじゃないかなと思ってたんですけど、事業がやられるということで安心しました。</p>
山崎委員長	<p>進行の都合により副委員長と交代させていただいたらと思います。</p>
赤松副委員長	<p>それでは委員長から意見があるということなんで、委員長にかわって執行させていただきます。</p>
	<p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
山崎委員	<p>まず第1に業務計画の中にあったDXスマート農業のことを推進するというのが書いてあるんですけど、その内容についてお聞きしたいのと、もう1つは、各種補助金あると思うんですけども、農業振興補助金については変更なしというふうなお答えだったように思うんですけど、それ以外の補助金も含めて、やはり財政が厳しいということがあるので、その辺のこと、どういうふうな形に今回なっているのかというのをお聞きしたいのと、もう1つは、今まで補助金を使っていた農家の方とか、そういう今までの実績を含めて、そういうニーズにはしっかり応えられるような補助金の内容になっているのかどうか。</p>
	<p>そしてもう1つは、先ほど山石委員さんも言われた中山間の事務処理のことなんですけども、なかなか事務処理が複雑でその部分を</p>

中 井 課 長	<p>担う人がいないってことを言われたらと思うんですけど、その事務手続、事務処理の部分について、どういうふうなサポートをしていく考えなのかということと、もう1つ、地域おこし協力隊、引き続き募集するということだったんですけど、先ほど課長が説明された内容で、なかなか定着しにくいということだろうと思うんですけど、研修内容について、どういうふうに、今後、地域おこし協力隊の農業を目指している人に対して考えをお持ちなのか、その4点お聞きをしたいと思います。</p> <p>まずスマート農業への取組につきましては、予算上の計上はできておりませんが、引き続きましてドローンによる防除を中心としたものと、あと昨年、農業委員会で広島県に行って視察をさせていただきました自動給水装置などについても、取組をする予定であります。その取組内容としましては、鬼北農業指導班におきまして1組ではありますが現物がございます。その現物を既にもう町内の農家さんに設置していただく方向で現在調整をしております。水張りができる頃には、何とか設置ができるようにしたいと考えております。</p> <p>また町の予算ではございませんが、鬼北地域農業振興協議会で、ここにもこれまで桃の実証試験ですとか、いろんな試験をしていただいた予算がございますが、このあたりにも声掛けをさせていただいて、スマート農業に関する予算をとりまして、今のところ1か所だけの自動給水装置の設置ではありますが、これを何か所か設置させていただいた上で、効果ははっきりあるようであれば、町の予算化にも取り組んでいきたいと考えております。取組については以上です。</p> <p>次に農業振興補助金につきましては、資料に記載しておりますとおり、これまで6つの項目に分かれて、ちょっと複雑だったものを分かりやすく明瞭にした形で、2つの事業に絞り込んだものであります。</p>
---------	--

この内容につきましては、委員さんからも言われたように、内容については変更しておりません。

ただ、予算額といたしましては、これまでは、ある程度の過去の実績にプラスして、今後の見込み等により予算化をさせていただいておりましたが、令和8年度につきましては、令和6年度の実績、そして7年度の見込み、そこら辺をしっかりと踏まえた上で、精査をし直しまして、必要な額だけ予算化をさせていただくという形で計上させていただいております。

そういったことで農家のニーズに対してではございますが、今のところ、予算自体は前年度に比べて約200万円の減額ではありますが、これはあくまでも令和6年、7年の実績に基づいて、計上した予算でありますので、予算が切られてできなくなるというのではなくて、積み上げた結果が、この額になって予算化したということですので、引き続き農家の方には活用していただけたらと思っております。

次に、中山間の事務手続についてですが、この点につきましては、やはり非常に難しい問題ではございますが、今は土地改良区において、事務の補助などしていただいておりますが、根本的に、地域で役員を引受けておられる方なども高齢化をして、なかなか事務処理が難しい状況となっていることは、町も把握しておりますので、その辺りについては、町からも、土地改良区に任せるというわけではありませんが、町からも地元に出ていって、後継者対策といえますか、その辺りのことを話し合いなどしていかなければならないかと思っております。

そういった形で、どういった支援ができるか、話し合いを持ちながら進めていきたいと考えております。

そして最後になりますが、地域おこし協力隊の研修内容でございますが、昨年までは、地域おこし協力隊については、源吉兆庵への加工桃の出荷といえますか、生産を中心に研修を行ってございました

	<p>が、現在は、加工桃だけではやはり生業とならないという現実が分かかってきておりましたので、年間を通して桃だけではなく、柚子ですとか、あと施設園芸でいえばキュウリですとか、そういった多品種のものをいろいろ経験していただいた上で、年間を通して収入、所得を得られることを自分で選んでいっていただけるような研修方式に変更しているところでございます。そういったことで、町が決定するのではなく、本人の意思で研修内容を選んで頂きながら、定着に向けて進めていきたいと考えております。</p> <p>山 崎 委 員 長 丁寧な説明ありがとうございます。</p> <p>スマート農業DXのことに関しても、予算は今のところ組んではないけど何とかその辺は対応できるということなんでちょっと安心をいたしました。</p> <p>また補助金の内容についても200万円減額ということでも、過去2年の実績に基づいてということだったんで、ほぼ農家さんのニーズにはお応えできるのかなということでも、安心をさせていただきました。</p> <p>中山間の事務処理っていうのをやはりできるだけサポートをして何とかスムーズに行くようなことをしていただけると、それを受ける担い手が楽なのか、それとも受けやすいという状況になるのかなと思うんで、その辺はしっかりお願いしたいと思います。</p> <p>地域おこし協力隊の農業の部分なんですけど、私もずっと同じことを思っただけで、やっぱり複合的に組合せて1年間で生業を立てるっていうのが基本だろうと思いますんで、そういう方に変更していただいているということでそれも安心をいたしました。</p> <p>私の質問はこれで終わりますありがとうございます。</p>
赤松副委員長	委員長の質問が終わりましたので進行を委員長と交代いたします。
山崎委員長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。

山 崎 委 員 長

ただいま審査しております、議案第33号について、原案のとおり可決すべきものと決定することに、ご異議ありませんか。

(異議なしの声)

賛成全員です。

したがって、当委員会は、議案第33号「令和8年度松野町一般会計予算」、農林振興課・農業委員会所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和8年4月21日

松野町議会総務常任委員会委員長 山崎 匡

松野町議会総務常任委員会副委員長 赤松 紀幸